

## 平成25年度 新宿区多文化共生まちづくり会議

### 第5回「外国にルーツを持つ子どもの教育環境の向上」部会 議事概要

日 時 平成25年10月15日（火） 15:30～17:30

場 所 新宿区役所本庁舎3階 302会議室

出席委員 川村委員、山脇委員、小島委員、シュレスタ委員、小林委員、栢木委員、盛委員、  
梶村委員、本多委員、乾委員 10名

欠席委員 李委員、藤田ラウンド委員、金世煥委員、センブ委員、リコ委員 5名

- 1 開会
- 2 第2回ワーキング・グループの活動報告について

○新宿中学校日本語学級への視察について事務局から報告を受けた。

- 3 中学校～高校以降の子どもたちについて

○外国にルーツを持つ生徒と高校入試について

栢木委員から報告を受けた。

義務教育就学年齢を超えて来日した外国にルーツを持つ子どもたちは、公立小中学校に入学できない。多文化共生センター東京が運営する「たぶんかフリースクール」では、こうした子どもを対象に、高校進学を目標とした学習支援を行っている。

《学齢を超えて来日した子どもたちが高校進学等で抱える問題》

- ・高校入試についての情報不足（学校に所属していないため、情報を得る機会がない）
- ・日本語指導を受ける場所がない
- ・入試手続きの煩雑さ（母国から卒業証書や成績証明を取寄せ、翻訳文もつける等）
- ・5教科受験（社会や理科の学習用語を覚えることが難しい）
- ・高校進学後、日本語指導や教科支援が少ない

○高校進学学習教室「子どもクラブ新宿」の活動を通じて

小林委員から報告を受けた。

《区立中学校生で「子どもクラブ新宿」に通う子どもたちが高校進学等で抱える問題》

- ・5教科受験（社会や理科の学習用語を覚えることが難しい）
- ・内申点（中間や期末テストで点数が取れていないため、内申点が低い）
- ・日本の教育制度への理解（本人も保護者も日本の入試システムを知らない）

- ・来日時期

(来日が早い子ども…流暢に日本語を話せても、学習言語が習得できていない)

(来日が遅い子ども…日本語会話に課題があるものの、母国で培った知識がある)

- ・学校でのサポート (本人の学力だけでなく、家庭環境や経済的状況に課題がある)

○子どもたちの教育環境の向上に係るNPOの活動

事務局から説明を受けた。

#### 4 中間報告に向けて

○骨子 (案) について

- ・新宿区が全庁的に、外国にルーツを持つ子どもに係る問題を共有し、連携を強化させる必要がある。

- ・教育に専門性があり、部門を越えて動ける権限を持つ多文化ソーシャルワーカーの設置を提案したい。

- ・学校教育専門の通訳を派遣する体制の整備等、他自治体の先進的な取り組みを研究して、区にふさわしい取り組みを作る必要がある。

- ・施策を考えるだけでなく、子どもをどのように支援していくのか、具体的なフォロー体制を議論すべき。

○策定スケジュール等

#### 5 閉会